

レストラン船「銀河」によるさくらクルーズ(その2)

事務局長 池田良穂

クルーズ当日は、朝から雨模様でした。宇品港にいくと「銀河」が停泊しており、フェリー一棧橋は出入りする離島航路および呉・松山航路のフェリーや高速船がひっきりなしに出入していました。

出港 15 分前に「銀河」に誘導されましたが、棧橋には、瀬戸内海汽船の仁田社長以下、社員がたくさん見送りに来ていました。仁田社長曰く、「今日は墨絵のような美しい瀬戸内海を楽しんでください」。確かに雨の瀬戸内海も悪くはないという気になりました。

呉からの 10 数名のお客さんが到着するのを待って、いよいよ「銀河」の出港です。乗客の中から選ばれた小さな姉妹が銅鑼を打ち鳴らし、紙テープが船上の乗客と岸壁の見送りの人々をつなぎます。

この日の乗客は全部で 87 名。それを 31 人のスタッフがサービスします。ライフジャケットの付け方のデモンストレーションがあり、小松船長の挨拶がありました。船内を取り仕切るのは宮内クルーズディレクターで、マリンガイドの谷口さんが島や瀬戸の説明をします。船内では、本学会の相澤会員とお隣の席だったので、まず 2 人の記念撮影をしました。

船は宮島へと向かい、厳島神社を海上から見てから U ターン。宮島と宮島口を結ぶ JR のフェリーおよび民間フェリーとたくさん出会いました。

その後、宮島を右に見て、船は周防大島に向けて南下を始めますが、その頃には前線通過の影響で海が荒れ始めました。船は、風と波に向かうように針路を西向きに変えて航行してから、U ターンをして北東に針路を変えました。追い波になったので一気に船は揺れなくなりました。船長からのアナウンスがあり、風と波がひどくなっているので、当初予定ルートの周防大島の五条の千本松の海上からの見学、そして由利島周遊は諦めて、倉橋島や江田島の中の静穏域に向けてルートを変えとのこと。ちょうど、昼食の時間だったこともあり、だれからもクレームはでませんでした。安全第一でかつ快適性の維持も大事なのです。

昼食は、銀河自慢のフランス料理のフルコースでした。ワインも 1 本注文して、美味しい料理を堪能しました。お誕生日のお客さんのお祝いや、ビンゴなど催し物もたくさんありました。

テレビのダッシュ島のロケが行われている個人所有の由利島は見れませんでした。初めて早瀬大橋の下を通過することができるなど、楽しい船旅が続きました。

夕刻、寄港した呉では、日本の 3 大海運会社のコンテナ部門が作った専門会社の ONE の塗装の建造中の大型コンテナ船の姿も見れました。

定刻の 17 時には広島港(宇品)に到着し、みなさん満足そうに下船しました。桜は見れず、雨と風の中での瀬戸内海ワンデイクルーズでしたが、意外に、満足感が得られた旅でした。



当初の銀河さくらクルーズのルート



①広島港(宇品)に停泊する「銀河」



③似島の安芸小富士を左手に見て、一路、宮島に向かいました。



②瀬戸内海汽船の仁田社長をはじめとする社員の方々に見送られて出港。



相澤会員とのツーショット。



④宮島の厳島神社の鳥居の前でUターン。



⑦前菜



⑤宮島口と宮島を結ぶフェリーとたくさん出会いました。



⑧魚料理

MENU
Hors-d'oeuvre -オードヴル-

'SAKURA' 前菜盛り合わせ
桜鯛のカルパッチョ ・桜鱈老のキッシュ
・桜スモークチキン ・桜鯛の生春巻き

Potage -ポタージュ-
ポタージュ ソルフェリーノ

Poisson -魚料理-
桜鯛の香り蒸し 浅利と春菊のフォン

Viande -肉料理-
牛フィレのソテーと春野菜のエチューベ

Dessert -デザート-

桜バシュラン ギャラクシースタイル2018

Pain
パン

café
コーヒー

CRUISING SHIP
銀河 広島ベイクルーズ 銀河
GALAXY 料理長 飯尾 香樹

⑥メニュー



⑨肉料理



⑩デザート



⑪瀬戸内海では珍しいほどの大荒れに。



⑫早瀬大橋の下を通過しました。



⑬呉のJMUではONE (Ocean Network Express)の塗装のコンテナ船が建造されていました。



⑭松山航路の高速船「瑞光」



⑮マツダの積出港の沖に停泊するPCGT「トリトン・エース」



⑯広島港に入港する直前には雨も上がり、西の空には光がさし始めました。出港する「第十きりくし」と反航しました。